

科学研究費助成事業 研究成果公開促進費 国際情報発信強化(平成 25 年度採択分)
「地球惑星科学に関する学術研究のオープンアクセス電子媒体刊行による国際情報発信の取組」
(課題番号:254001)

学術団体名:公益社団法人日本地球惑星科学連合
学術刊行物の名称:Progress in Earth and Planetary Science (PEPS)
事業期間:平成 25 年度～平成 29 年度

1 取組の概要

・取組内容の特徴と目的、意義及び方法

日本地球惑星科学連合(JpGU)は、H17 秋の日本学術会議の改革に対応して発足し、H23 に公益社団法人となり、地学系 50 の学協会が参加しています。例年 5 月に千葉県幕張メッセにて合同で学術大会(連合大会)を実施してきています。2015 年(H27)には口頭・ポスターの全投稿件数は 4037 件、全参加者も 6689 人と、毎年増加傾向にあり、AGU(米国地球物理学連合)、EGU(ヨーロッパ地球科学連合)に次ぐ規模となっています。

本申請は、地球惑星科学のコミュニティの研究成果に加え、連合大会での優秀な発表論文や地球惑星科学に関するレビュー(総論)を中心に文字媒体による国際情報発信を目的としたもので①地球惑星科学における世界の一極を担えるオープンアクセス(OA)電子ジャーナルの創刊、②連合大会の多角的・統合的な成果の公表、③参加学会との共同発行に取り組みます。

本事業を遂行するにあたり、ジャーナル企画経営委員会と編集委員会を設置し、事業経過を JpGU 理事会に報告し、日本の地球惑星科学コミュニティの力を結集して、科学研究成果の海外情報発信を行い、国会図書館へも PEPS 献本を行います。効率的な運用を行うためジャーナル事務局を開設します。

海外への情報発信を行うため、JpGU と覚書を交わす AGU、EGU 等の国際学会や国内関連学会で PEPS の広告を掲載し、認知度を高めます。さらに、国際シンポジウムで、講演内容を PEPS へ投稿する海外の著名研究者の来日旅費の支援を行い、質の高い原稿集めのキャンペーンを行います。これらの取り組みにより掲載論文の質とサーキュレーションをさらに高め、事業完了後には、著者負担によるオープンアクセス国際誌としての刊行を目指す予定です。

・応募時に設定した取組の目標・評価指標

完全 OA 電子ジャーナルを創刊します。新規試みとしてレビュー(総論)にも力点をおいた特徴を打ち出し、編集・査読体制の国際化とともに国際学会での広報・宣伝を行い、国際情報発信を強化し、論文へのアクセス数を増加させ、最終的に世界の一流誌としての評価を確立します。

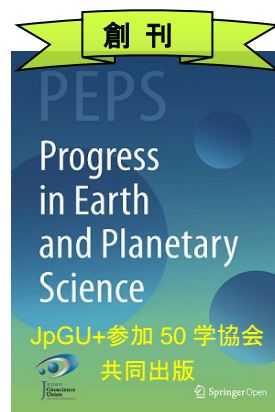
2 目標の達成状況

・現在までの目標の達成状況

本事業で、JpGU は参加 50 学協会と連携し Springer 社と協力し、新規「オープンアクセス(OA)電子ジャーナル、「Progress in Earth and Planetary Science(愛称、PEPS)」を 2013 年(H25 年度)に創刊しました。論文はすべてオープンアクセスで、科学研究費補助金(研究成果公開促進費)の趣旨を着実に実行しています。特徴としては、オリジナル研究論文の出版とともに、地球惑星科学の知識などを体系化し将来の課題を抽出するレビュー(総論)にも力を入れており、掲載論文数の 20%以上という数値目標を掲げていましたが、2014、2015 年のレビュー比率は 30%以上で、当初の目標を達成しています。論文出版数は 2014、2015 年において合計で 58 件に達しており、当初の目標どおりです。連合大会(年会)等の発展に関しては、国内外の著名研究者を中心とした PEPS への投稿を促進し、当初の目標を十分達成しており、引き続き 2016 年度も継続する予定です。創刊間もないためインパクトファクター(IF)は未取得ですが、発表論文へのアクセス総数は約 11 万件、PDF ダウンロード総数は約 7 万件で、当分野の世界の一流誌のレベルに匹敵しています。また、1 論文あたりの被引用数の暫定的計算値 2.5 は IF の最終数値目標を達成できる可能性が高いことを示しています。

・今後の計画

今後は、特定のトピックスに基づく論文集、顕彰制度、編集長を含めた外国人編集委員の増員、海外からの投稿の増加を促進し、当初設定した目標の達成を目指しています。



目標達成!

OA 電子ジャーナル創刊!

共同: JpGU+50 学協会!

オープンアクセス: 完全!

レビュー(総論): >20%!

アクセス数: 11 万件!

被引用数/論文: 暫定>2.5!

連合大会の発展: 魅力的な講演と PEPS への投稿!